



【第46号】

令和7年12月8日

福島県小名浜港湾建設事務所 おなはまみなと通信

【発行元】
福島県小名浜港湾建設事務所
企画調査課
☎ 0246-53-7126

みなとを支える船「タグボート」 ～小さな体で大きな船を動かす👉～



みんなで、押すよー



大型貨物船 L=240m
タグボート L=32m

小名浜港6号ふ頭

今回は、みなとを支える船「タグボート」を紹介します。
小名浜港に入港する大型の貨物船は、広大な海を行き来するのは得意ですが、数万トンの重さがあり、急に止まることができないなど自力で細かな動きをするのが苦手です。

そのため、港の中では「タグボート」と呼ばれる小型の船がサポートしています。タグボートは、見た目はそれほど大きくありませんが、大きなエンジンと、船が360度回転できるプロペラを持っていて、2隻、3隻で協力しながら大型船を押したり、ロープで引いたりして動きをサポートします。

小名浜港には、年間400隻以上の外航船が入港します。その船が安全に接岸できるのは、タグボートのおかげであり、小名浜港の安全を守るその姿は、「港の縁の下の力持ち」です。

現在、タグボートの仕事を紹介する動画を作成中です

動画配信中
YouTubeチャンネル
「おなはまみなと」
二次元コード



(動画をちらり紹介) 大型船を押すタグボート(左)、細かな動きを操舵する航海士(右)



小名浜港湾建設事務所では、いわき市内のみなとの管理、運営及び整備を行っています。
「おなはまみなと通信」では、小名浜港をはじめとしたいわき市内の港湾・漁港の整備状況や話題等、みなとに関する情報を発信します。

※おなはまみなと通信は、当事務所のホームページからご覧いただけます 二次元コードはこちらです



小名浜港の歩みをたどる

小名浜港は、令和8年に開港70周年を迎えます。

1956年(昭和31年)5月に関税法に基づく国際貿易港として開港して以来、時代とともに姿を変えながら、地域の産業・物流の拠点として、そして海と人をつなぐ窓口として発展しました。そんな小名浜港の少し昔の写真を紹介し、振り返ってみたいと思います。



小名浜港2号ふ頭

(平成十二年八月)
お盆休みのひととき、小名浜港2号ふ頭に帆船「日本丸」が寄港し一般開放されました。
雄大なその姿を一目見ようと大勢の人が集まり、小名浜港は大変な賑わいとなりました。
また、アクアマリンふくしまは、この年の7月に開館したばかりで、当時の写真には2号ふ頭に大勢の人だかりができています。様子が記録されています。



小名浜港大剣ふ頭

(平成十二年八月)
大剣コンテナヤードに、新たに外貿コンテナクレーンが設置されました。
このクレーンは、神戸港で活躍していましたが、平成7年の阪神・淡路大震災で被災し、修繕後小名浜港に運び込まれました。(この後、東日本大震災で2度目の被災を受けることになります)
現在の大剣ふ頭にはガントリークレーンが2基設置され、その背の高い姿は、遠くからも見つけることができると思います。



平成12年8月「日本丸寄港」



平成12年7月「アクアマリンふくしまオープン」



平成12年8月「第47回いわき港まつり」



平成12年8月「第47回いわき港まつり」

<あとがき>

今回は、開港70周年を迎える記念として、「番外編」を発行予定です 🚢 🌊 🚢



@ONAHAMAPORT.FCO

